

MPH22 型

●制御部品 ●パネル取付形 ●RoHS 指令対応

●モータの定格

記号	入力電圧	最大出力	起動トルク	最大効率	無負荷回転数
A	D.C. 6V	0.26W	0.52mN・m	65%	19,100r.p.m.
B	D.C. 6V	0.43W	1.55mN・m	70%	10,700r.p.m.

●減速ギヤの特性 (A、Bモータ使用時)

記号	減速ギヤ比	応答時間 (概略値: 秒/F.S.)			
		Aモータ (19,100r.p.m.)		Bモータ (10,700r.p.m.)	
		1回転POT	10回転POT	1回転POT	10回転POT
5	1 : 41	—	—	0.6	4.9
6	1 : 76	—	—	0.7	6.2
7	1 : 141	0.9	7.8	1.0	9.8
8	1 : 262	1.2	11.2	1.6	15.7
9	1 : 485	1.8	17.9	2.9	28.1
10	1 : 900	3.2	31.2	6.0	60.0
11	1 : 1,670	5.6	55.7	9.4	93.8

●ポテンシオメータの特性

当該各型のポテンシオメータの頁を参照してください。



MPH22A7-FCP22E型



MPH22B10-FCP22A型

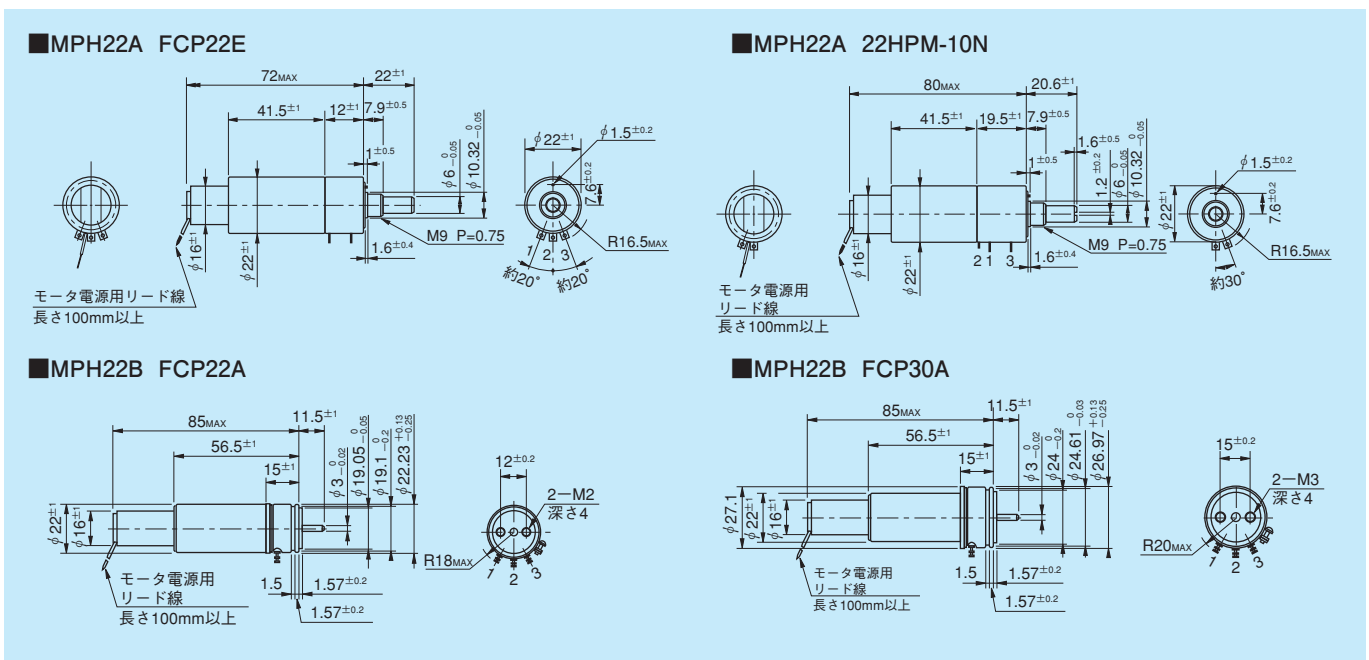


MPH22A10-22HPM-10N型

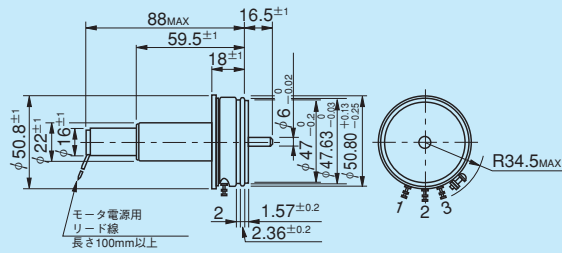
標準仕様の一般特性

型名	使用モータの記号	減速ギヤの記号	使用ポテンシオメータ		スリッピングトルク mN・m (gf・cm)	備考	
			エレメント	回転数			
MPH22	A・B	5~11	巻線	1	CP22, CP50	20~30 (200~300)	—
			ハイブリッド	10	22HPM-10, 25HP-10 22HHPM-10	約50 (500)	マルチダイアル取付可能
			コンダクティブ プラスチック	1	FCP22E, FCP22A FCP30A, FCP50A	20~30 (200~300)	—

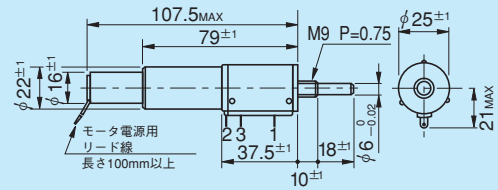
●標準寸法図



■MPH22B FCP50A



■MPH22B 25HP-10C



モータポテンシオメータ使用時の注意事項

- 1) モータポテンシオメータのモータの定格電圧は6Vですが、特注として各種電圧のものも製作可能です。
(例、D.C.12V、24V他)
なお、モータの定格電圧は、ポテンシオメータの定格電圧より通常低いため、モータの絶縁抵抗、絶縁耐力は100Vとなりますので試験時ご注意ください。
- 2) モータにより駆動されるポテンシオメータのシャフトの回転方向は、減速ギヤ比によって異なります。ご使用时、予め回転方向についてご確認ください。
- 3) モータポテンシオメータのスリッピングトルクは、特性表に個々に規定しておりますが、ご要求により

- 約0.1N・m(1kgf・cm)まで強くしてご納入することができます。
なお、シャフトにかかる負荷は、スリッピングトルクの1/3以下となるようにして下さい。
- 4) アンプを通してモータを回転させる場合、モータスピードは必ずしも直線とはなりません。
 - 5) モータポテンシオメータに使用しております各モータ単体の寿命は無負荷で約1000時間が目安となります。尚、使用時の負荷の大きさにより寿命は短くなります。